

# 令和4年度 浜松市立横山小学校 学校評価報告書

## 1 自己評価

### ① 【知】「学び合う子」 主体的・対話的で深い学び

#### <成果>

- 子供たちが安心して学習に取り組むことができた。
- 自分の考えや思いを伝える力が育ってきた。
- タブレットPCの使い方に慣れ、学び方の選択肢が広がった。

#### <課題と方策>

- 少人数の学年における協働的な学びをどのように保障していくか。
  - 担当外職員の参画を進める。
  - 他校との授業交流などを含めた授業形態及び指導方法の一層の工夫を行う。
- 読み書き、計算といった反復練習が必要な基礎・基本の定着をどのように図っていくか。
  - 朝活動における学習時間の設定、学習習慣の定着(家庭と連携のもと)を図る。

### ② 【徳】「認め合う子」 自他のよさに気付く力の育成

#### <成果>

- 自分や友達のよいところを見付け、認め合う姿が様々な活動を通してどの子にも見られた。
- 登校時のあいさつ、来校される方へのあいさつができています。

#### <課題と方策>

- たつ子ショート集会のように確立された活動については、大変有効であったが、日常生活や他の自主的な活動においては、やや消極的と感じる子もいる。
  - 互いのよさを理解する取組、自己肯定感を高める取組の充実を図る。
- 校外など、場面によっていつものあいさつができないことがある。
  - あいさつの意味・意義の指導、あいさつの称揚を行う。

### ③ 【体】「高め合う子」 たくましい体と心の育成

#### <成果>

- 目標に向かってチャレンジする姿がどの子にも見られた。
- 自分の健康について考えることで、改善に向け行動する子が増えた。
- 一年間を通して、どの子も元気に登校できた。

#### <課題と方策>

- 粘り強さが必要な継続的な体力づくりには、進んで取り組んでいるとは言えない。
  - 目標を明確にし、継続的に取り組むための指導の工夫を行う。
- 「早寝、早起き」ができなかったという子が時々見られ、学校生活での活動意欲の低下が懸念された。
  - 規則正しい生活習慣の重要性の指導と継続的な取組を進める。

### ④ 【総括】

#### <成果>

- 一年間を総じて、子供たちが心も体も健康で、楽しく学校に通うことができた。

#### <課題>

- 「キャリア教育」では、児童と保護者の評価に大きな違いが見られた。
  - キャリア教育を始め、教育活動の「見える化」を図る。

## 2 学校関係者評価

2月7日(火)に開催した学校運営協議会において、自己評価結果、考察及び改善方策について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

- ・ それぞれの成果に対し、課題と方策がしっかりなされていると感じた。
- ・ 子供の自身の評価よりも、親目線の方が厳しくなってしまうのは致し方ないが、ほとんどが良い評価になっているのは素晴らしいことだと思う。また、先生方が頑張っている事がわかる評価になっていると思う。
- ・ 学校の評価を私たちがするのはむずかしい。横山小学校の子供たちが新聞に掲載された記事を目にしたたり、頑張っている姿を見られるだけでうれしく思っている。
- ・ 評価に納得し、少しずつ理解もしている。協議会でそういう話を聞くのも必要だとは思うが、違う視点でいろんな意見を聞ける場であってほしい。
- ・ いろいろな取り組みを説明いただいて、小規模校の良さを感じた反面、少人数であることの課題がずっとついてまわると改めて感じた。優しさを持った子供たちではあるが、切磋琢磨した子供たちの姿もいろんな場面で見られたらいいと思った。
- ・ 評価そのものは真ん中がない。数字にすると5段階で3がない。上か下かとなると判断が曖昧になる。数字で出ると独り歩きをしてしまうのでむづかしいところではあると思う。もう少し深読みしていくことが大事なのではないか。事細かに事例をあげて丁寧な評価を示していただいた率直な感想は、横山小学校は安心できるということである。

## 3 学校関係者評価を受けて

- ・ 少人数であることの課題については、来年度の教育課程において、光明小との交流の回数を増やしたり、ICTを使って他校との通信授業に取り組んだりすることで改善を図ってきたい。
- ・ 横山小の教育活動を、保護者、地域みなさんに伝え、さらに理解していただけるよう、学校だよりやウェブサイト等を使って、広報に努めていきたい。